

2024/07/11

和訳版(要約)

## [ファイナル・レポート]

### 第 39 回 ミラノ・ウニカ

#### 第 39 回ミラノ・ウニカ展閉幕、海外バイヤー数・36%増加

本日、第 39 回ミラノ・ウニカ展が閉幕しました。**569 社**の出展者の内、**454 社**はイタリア（前年 7 月展比**+18%**）、**115 社**はヨーロッパ（前年 7 月展比**+47%**）から出展し、2025-2026 年秋冬向けのレディース、メンズ、キッズ向け高級テキスタイル及びアクセサリ製品を展示しました。リサーチ分野、特別エリア、イノベーションエリアも含めると出展者総数は**700 社**となり、前年 7 月展比で**+18%**の増加となりました。

ミラノ・ウニカ展（2024 年 7 月 9 日～11 日）には、**5541 社**の企業が来訪し、前年 7 月展比で**+19%**の増加となりました。そのうち、**3403 社**はイタリア（**+11%**）、**2138 社**は海外からの来場者（**+36%**）でした。

海外からは特に以下の国からの来場者数が増加しました：

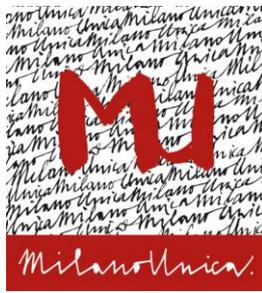
フランス（+65%）、スペイン（+60%）、中国（+55%）、ドイツ（+47%）、イギリス（+30%）、韓国（+20%）、日本（+16%）、アメリカ（+14%）。

注目すべきは UAE（アラブ首長国連邦）から 22 社が初めて参加したことです。

「今回の展示会の大成功は本展の包括的で高品質な提供内容が国際的なレベルにおいて増々魅力を増していることを示しています。また、2024 年初頭の困難な状況にもかかわらず、メイド・イン・イタリアのテキスタイル及びアクセサリ製品が高く評価されていることから出展者の信頼が高まっていることが確認できました」と、ミラノ・ウニカ会長：シモーネ・カンクリーニ氏は述べました。

7 月 9 日に行われた開会式では、いつもの通り繊維業界の市場洞察・分析についての説明が行われました。ロンバルディア州知事の**アッティリオ・フォンタナ氏**は、サプライチェーン全体が果たす重要な産業的および文化的役割を強調しました。政府を代表してミラノ県知事の**クラウドディオ・スガラリア氏**はミラノ裁判所による調査に続いて、ファッション業界を保護するための生産委託と安全ツールに関するプロトコルを定義するために企業及び貿易協会と進行中の活動を振り返りました。

ミラノ・ウニカ会長：シモーネ・カンクリーニ氏は、厳選された新規出展者の数が著しく増加し、結果的にはヨーロッパ企業の参加が倍増し展示スペースも 20%増加したことを強調しました。「これらの数字は、団結したチームとして協力し、未出展のポテンシャルのある欧州企業を引きつけることを視野に入れつつ、品質と選択性に投資していくことがいかに重要であるかを示しています。私たちが保証するのはあらゆる意味での『メイド・イン・ヨーロッパ』の概念です」と、カンクリーニ氏は続けました。



イタリア貿易促進機構・ICEの会長である**マッテオ・ゾッパス**氏は、特にこの展示会の存在を知らない、あるいは参加する手段を持たない中小企業に対して、国際規模でメイド・イン・イタリアのプロモーションと発展を支援する同機関が提供するサービスを活用するよう促しました。

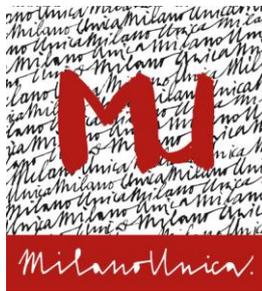
「2023年には、イタリアの輸出額が6260億ユーロに達し2022年と同水準を維持しました。この数字はGDPのほぼ3分の1に相当し、パンデミック前の2019年と比較して30%の増加を示しており、これはパンデミック、戦争、及びそれに伴うエネルギーや輸送コストの増加があったにもかかわらずの増加であり、特に注目すべきことです。ICEは、SACE、SIMEST、CDPと共に、イタリアの中小企業の国際化と輸出の促進を支援するために2つの方向で活動しています。第一に、メイド・イン・イタリア製品の世界へのプロモーション及びイタリア企業と外国バイヤーとのビジネスマッチングの機会の創出です。第二に、パンデミックの期間中に減少傾向にあった展示会への参加の促進であり、これがビジネス発展のための重要な機会であることが今回証明されています。展示会は外国のバイヤーとイタリア企業との接触を促進し、後者にとって国際市場での発展と成長の第一歩となります。イタリア貿易促進機構ICEは、ミラノ・ウニカに153人のバイヤーを含む161人のメンバーを送り込み、600を超える出展者との接触を促進しました。また、ICEはビジネスミッションを含む他の供給と需要のマッチングの機会も組織していますが、展示会は企業家が製品を顧客に紹介するための重要な機会です」と、ゾッパス会長は付け加えました。

「メイド・イン・イタリア サプライチェーンの未来：創造性、イノベーション、企業規模」：これがラウンドテーブルのタイトルでメディアセットのジャーナリスト・イル・ジヨルナーレの副編集長である**ニコラ・ポロ**氏がモデレーターを務めました。このディスカッションには以下のスピーカーが参加しました：Confindustriaの副会長でYamamayの共同創設者である**バーバラ・チミンノ**氏、ピッティ・イマジネの会長でKitonのCEOである**アントニオ・デ・マッティス**氏、Bernsteinのアナリスト且つラグジュアリー部門の責任者である**ルカ・ソルカ**氏、そしてOC&Cミラノのパートナーである**カテリーナ・サンソン**氏。

ポロ氏の促しにより、デジタル化と技術革新のプロセスによって課された急激な変化を受けテキスタイルおよびアクセサリー分野も予期せぬ混乱に直面している状況についての議論から始まりました。これに対する新たな反応が求められており、異なる集約オプションの実験開始が求められていることに焦点が当てられました。転換点はイノベーションの加速であり、持続可能性、競争力、生産性に関する問題に対する実際の解決策を見つけるためには、より一層の決意を持って追求しなければなりません。最後に、すべてのスピーカーが一致して述べたのは、イノベーションを追求するには企業の若い才能の関与が不可欠であり、彼らにはより良い給与条件とターゲットを絞ったトレーニングを提供すべきだということでした。

「ミラノ・ウニカは成長を続けており、これはメイド・イン・イタリアのテキスタイル・アパレルの輸出がイタリア経済にとって非常に重要な推進力であり、2023年のGDPに640億ユーロを貢献していることを示しています。産業を支援するためには、欧州の次元と世界的な競争力を維持し、産業政策の支援と公平な競争の場を整えることで、二重の転換を調和させることが必要です」と、Confindustriaの副会長**バーバラ・チミンノ**氏は展示エリア訪問後に述べました。

このイベントには、新しい特別エリアとシーズン毎に変化するコンテンツプロジェクトが特徴として加えられており、来場者をイタリアとヨーロッパの卓越性を物語る旅へと誘います。サステナビリティとイノベーションエリアはミラノ・ウニカが持つサステナビリティとプロセスおよび製品のイノベーションへの強い関心を表現しています。特別プロジェクトには2026年のピーチウェアコレクションのプレビューを展示する**MarediModa**やベルベットの歴史を祝う**Velvet**



**Mi Amor**が含まれています。これらの2つのプロジェクトはミラノ・ウニカの核となる価値観を具現化しています。つまりミラノ・ウニカはラグジュアリーの起源の重要性を認識する人達にとって基準点となるトレードショーであるということです。なぜならファッションは生地なしでは成り立たず、洗練されたエレガンスはアクセサリなしでは成り立たないからです。

「この展示会の成功に貢献できることは大変光栄であり、情熱的なチームの献身そしてイタリア企業の海外進出を支援するイタリア外務・国際協力省およびイタリア貿易振興機関 ICE の強力な支援の結果です。チームワークの重要性を示すメッセージの証として、今シーズンはミラノ・ウニカを通じて、歴史、芸術、文化に富んだミラノのいくつかの知られざる場所を発見する旅を提供しました。ミラノ・ウニカの名前に込められた独自性の最高の表現を皆様と共有するという願望の元、ディオチエサーノ美術館でのタベというイベントを企画しました」とミラノ・ウニカのジェネラル・マネージャーである**マッシモ・モッジオ**氏は述べました。

#### 【詳細情報】

Milano Unica Press Office (Tel. +39 02 6610 1105)

Alessandra Ardenzi (M: +39. 335.677.46.20)

Daniela Scardi (M: +39 3661964979)